

# 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、別掲の検査項目におきまして、検査内容を変更させて頂くことになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬 白

## 記

《検査項目》	〔1874〕	レニン定量(濃度)
	〔1852〕	血中アルドステロン
	〔1853〕	尿中アルドステロン
	〔4434〕	アルドステロン/レニン定量比
	〔4437〕	アルドステロン/レニン活性比

《変更日》 2020年3月31日(火) 受付分より

## 《変更内容》

検査コード	項目名称	変更箇所	変更後	変更前
1874	レニン定量(濃度) (ARC)	検査方法	CLEIA法	IRMA法(ビーズ固相法)
		基準値	随時: 1.2~35.4pg/mL	安静臥位: 2.5~21.4pg/mL 立位歩行: 3.6~63.7pg/mL
		報告下限	1.0pg/mL未満	2.0pg/mL未満
		報告上限	5,000pg/mL以上	999,000pg/mL以上
		所要日数	3~4日	3~5日
1852	アルドステロン	検査方法	CLEIA法	RIA法(チューブ固相法)
		基準値	随時: 173.0 pg/mL 以下	随時: 36~240 pg/mL 臥位: 30~159 pg/mL 立位: 39~307 pg/mL
		報告下限	25.0 pg/mL未満	7 pg/mL未満
		報告上限	800,000pg/mL以上	999,000pg/mL以上
		報告桁数	少数第1位	整数
	備考	負荷試験の場合は 負荷時間を明記 血清基準値: 170.0pg/mL以下	負荷試験の場合は 負荷時間を明記	

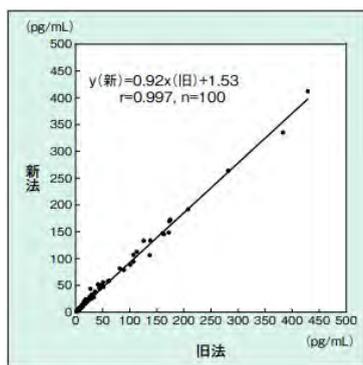
裏面に続く

## 《変更内容》

検査コード	項目名称	変更箇所	変更後	変更前
1853	アルドステロン(尿)	検査方法	CLEIA法	RIA法(チューブ固相法)
		備考	蓄尿の場合はトルエン1~2mLを加え冷所に蓄尿	
4434	アルドステロン/レニン定量比	備考	詳細は下記を確認ください。	
4437	アルドステロン/レニン活性比	備考	詳細は下記を確認ください。	

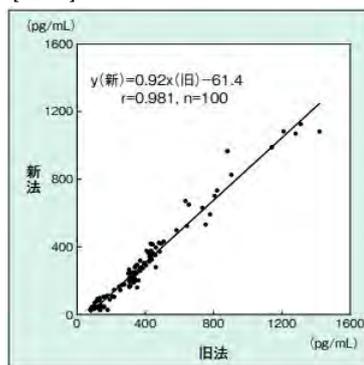
## 《相 関 図》

【レニン定量相関】

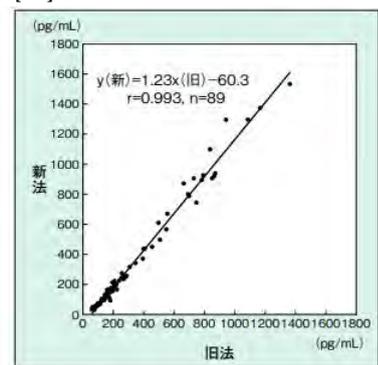


【アルドステロン相関】

[血漿]



[尿]



### 【アルドステロン測定に関するお知らせ】

2018年10月に日本内分泌学会より「アルドステロン測定を行っている会員への重要なお知らせ」がありました。このお知らせには、特にキット間での数値の整合性を担保し、再現性のある精度の高い検査法を強く要望し、異なる測定法に応じて補正しうる方策を講じる必要があることが示されています。

アルドステロン標準化の基本方針としての概略は以下内容となっております。

- 1 アルドステロン実試料認証物質として「アルドステロン分析用ヒト血清(NMIJ CRM 6402-a)」を設定した。
- 2 ARR(Aldosterone-Renin Ratio)についてはアルドステロン分析用ヒト血清を用いてトレーサビリティを確保したのち、従来の臨床判断値が継続可能なように補正したものとす。
- 3 日常検査法の評価および日常検査法間差の縮小は、比較対照法のLC-MS/MSとの比較試験を通して実現させる。

### [変更後の報告について]

- アルドステロン値については補正なしで報告いたします。

※従来法への補正式：旧法(RIA法) = 新法(CLEIA法) + 42.3 (試薬販売元添付文書より)

- ARR(検査コード4434並びに4437)につきましては、上記の補正式で補正したアルドステロン測定値を使用し算出いたします。